



# 鶴の便り 鶴の便り

第二十二回

## 夕鶴の里語り部養成講座

### 島貫貞子さん 講演（口演）会

「むがくし  
あつたけずまなあ〜」  
何とも心地良い語り：．

七月十日（日）、第二十二回夕鶴の里語り部養成講座の一環として、講演会が開催されました。

今年は、元民話会ゆうづるの島貫貞子さんの「語り&トーク」が行われました。会場には、「島貫貞子さんの語りを聞きたい！」という方が多く集まりました。

## 夕鶴の里資料館報

令和4年8月10日

第 140号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

島貫貞子さんは、夕鶴の里が出来るまでの事などを詳しくお話しして下さいました。

資料館として利用している蔵書は、昭和六十年に鉄道のレールを使って一旦ずらしたそうですが、ヒビ一つ入らなかつたそうです。

平成二年から夕鶴の里づくりが始まり、平成三年に「民話会ゆうづる」を発足して、当時は川合久男さんが主になり、漆山公民館や珍蔵寺に集められて語りの勉強会をしたそうです。

そして、平成五年の四月「夕鶴の里」オープンに至ったという事で、とても貴重なお話をお聞きすることが出来ました。

語りでは、「嫁の心得」や「嘉平とからす」「ぼたもち蛙」「のど焼け団子山」

「屈つたれ嫁ご」「骨董屋」「人間の寿命」そして最後は「おしまいの話」でおしまいになりました。  
貞子さんの人柄がそのまま語りに出ていて、会場は笑い声が響き、本当に楽しい時間でした。  
島貫貞子さん、ありがとうございました。



## ガールスカウトの皆さんが 来館されました！

七月三十日（土）、ガールスカウト山形県第八団の皆さんが来館されました。

当日は暑い中、熊野大社から歩いて来られたそうで、館内に入るとすぐに「涼しい！！」と声を上げていました。

ガールスカウトの皆さんは、語りを聞いたり、機織りを体験したり、資料館では映像を観て、展示の見学にも行って来られて、充実した楽しい半日を過ごされたようでした。



# 語り部養成講座 閉講式

第二十二回語り部養成講座の閉講式が七月三十日(土)、開催されました。

六月十八日から三回の受講を経て、四回目の閉講式では受講生がそれぞれ選んで練習してきた語りを、皆さんの前で発表しました。

緊張もあつたと思いますが、方言を使いながら丁寧に語っていました。

会場には、受講生の家族や知り合いなど、多くの観客が来場し、一人一人の語りに耳を傾けて聞いていました。

発表後の受講生の感想では「王手にできたので良かった」「ご飯を作りながら、洗濯物を干しながら、また、トイレでも練習した」などのエピソードも話され、大変頑張られた様子が伝わってきました。

◎受講生と語り題目は次の通りです。

- ☆子どもの語り
- 稲田 花凜さん 「白竜湖の琴の音」
  - 吉田 佳穂さん 「十二支ばなし」
  - 吉田 佳奈さん 「和尚と小僧」
  - 加藤 綜介くん 「寝言兄弟」
  - 堀内 心結さん 「まんじゅうこわい」



☆大人の語り

- 長谷川 憲子さん 「かすべとからかい」
- 高橋 多美子さん 「鶴の恩返し」
- 鈴木 洋子さん 「ぼたもちびつき」
- 村上 由美子さん 「若返りの水」
- 中條 先子さん 「屁たれ嫁ご」
- 星 美喜さん 「鶴の恩返し」
- 高野 民子さん 「嘉平とからす」



# 紅花栽培日記

(前号よりつづき)

昨年の六月、河北町立谷地西部小学校様よりいただいた紅花の種をまいて栽培していたところ、七月十四日に満開になりました。七月十四日、その後、七月二十九日には、種を収穫しました。



7月14日 満開



7月29日 種収穫

夕鶴の里友の会

## 第十九回民話の「語り駅伝」

日時・九月十一日(日)

午後一時三十分より

場所・夕鶴の里語り部ホール

※入場ご希望の方は、事前にお申し込み下さい。(定員一〇〇名)

TEL・四七・五八〇〇

事務局(夕鶴の里)